

## 「ブラック企業」根絶へ、実効ある施策を求める意見書

新卒の若者を大量採用、長時間・過密労働、パワハラなどで駆り立て、精神的にも追い詰めて大量退職に追い込むなど、不当な雇用管理を行う「ブラック企業」が社会問題になっている。

ブラック企業による、労働者や若者を使い捨てにするような雇用のありかたは、長い目で見た経済発展、技術継承、少子化克服などの課題に逆行し、社会負担を増加させることから、健全な社会発展とは相いれないものである。

ブラック企業によって、労働意欲のある若者が、心身の体調を壊すなどして次々につぶされていく実態は、学生や高校生、子どもたちなど、次世代の担い手たちの将来にも大きな影を落としている。

いまこそ、ブラック企業を根絶し、労働者や若者を守るための実効ある施策の実施が求められている。

よって、町田市議会は、国に対して、以下の対策を求めるものである。

### 記

- 一、雇用問題の相談窓口を設置・拡充し、若者への就労支援を拡充してください
- 一、早期離職率が高い企業、悪質な法令違反を行った企業名を公開し、監督・指導を強化してください
- 一、労働行政の監視・指導体制を強化してください

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。